

たちばな学び館だより

2024年 3月号 発行：たちばな学び館・高崎地域生活課

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。

ご家族お揃いで読書はいかがですか。



たちばな学び館所在地

〒889-4592

都城市高崎町大傘田 1150 番地 1

電話とファックス 0986-45-8181

たちばな学び館は、小さな図書館です。

たちばな学び館は、高崎総合支所 2階にあります。

どなたでもお気軽にご利用いただける図書室です。

土曜日・日曜日は、東側の警備員室前 出入口をご利用ください。



【休館日】

毎週月曜日、祝日、12月29日～1月3日、6月1日～6月15日



【開館時間】

午前9時30分～午後1時、午後2時～午後5時
(午後1時～午後2時は閉館です。)

【館外貸出】

一度に3冊まで、うち新刊1冊(未返却含む)、
期間は2週間です。



宮崎県立図書館・都城市立図書館の蔵書も、たちばな
学び館で借りたり返したりできます。

《2024年 本屋大賞 ノミネート作品》

『黄色い家』

『君が手にするはずだった黄金について』

『水車小屋のネネ』

『スピノザの診察室』

『存在のすべてを』

『成瀬は天下を取りにいく』

『レーエンデ国物語』

『星を編む』

『リカバリー・カバヒコ』

『放課後ミステリクラブ1 金魚の泳ぐプール事件』 知念 実希人

川上 未映子

小川 哲

津村 記久子

夏川 草介

塩田 武士

宮島 未奈

多崎 礼

凧良 ゆう

青山 美智子



◎本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んでお薦め本を選び投票で決める賞です。
ノミネート作品の中から大賞が選ばれますが、今年は何の作品になるのでしょうか！？
たちばな学び館にも全作品揃っていますので、ぜひ手にとって読んでみてほしいね♪



裏面へ続く

新刊案内

『夜明けのはざま』 町田そのこ / ポプラ社

地方都市の寂れた町にある、家族葬専門の葬儀社「芥子実庵」。仕事のやりがいと結婚の間で揺れ動く中、親友の自死の知らせを受けた葬祭ディレクター、元夫の恋人の葬儀を手伝うことになった花屋、世界で一番会いたくなかった男に再会した葬儀社の新人社員、夫との関係に悩む中、元恋人の訃報を受け取った主婦……。



『リラの花咲くけものみち』 藤岡陽子 / 光文社

動物たちが、「生きること」を教えてくれた。

家庭環境に悩み心に傷を負った聡里は、祖母とペットに支えられて獣医師を目指し、北海道の獣医学大学へ進学し、自らの「居場所」を見つけていくことに…北海道の地で、自らの人生を変えてゆく少女の姿を描いた感動作。

『墓じまいラブソディ』 垣谷 美雨 / 朝日新聞出版

「絶対にお父さんと同じお墓には入りたくない！」

四十九日の法要を目前に控え、突然明らかになった姑の遺言。いきなりの真実に黙り込む義父と、亡き母の希望を叶えるために奔走する義姉。騒動の行方をワクワクしながら見ていた五月だが、自分の娘たちも厄介な問題を抱え込んでいて……。面倒なことこの上ない現代墓問題。あなたならどうする？



『今日、誰のために生きる？』 ひすい ことろう / 廣済堂出版

アフリカの小さな村が教えてくれた幸せがずっと続く30の物語

幸せがずっと続く村、ブンジュ村。アフリカのその村が大切にしていたのは、「日本人」が教えてくれた「心」だった。村長が、日本人へ託した願いとは？感性を呼び覚まし、歓喜して生きるために。魂が揺さぶられる感動の実話。

《こどものほん》

- ・大ピンチずかん2 / 鈴木のりたけ
- ・地獄の迷路 / 香川元太郎
- ・ティスニー絵本 ティンカーベル
- ・ノラネコぐんだんぺこぺこキャンプ / 工藤/リコ などなど



～フットパスによる未来づくり～

自然とのふれあいから始める地域おこし！

フットパスとは楽しみながら歩くこと。日本で「フットパス」という言葉が使われるようになって20年。

全国122の団体、フットパスのコースの数は575本、総距離、約3,519kmに及び、多くの自治体等から注目されています。

※ 高崎町では、令和3年度からフットパスのコース作成に取り組んでいます。4コース選定済で、今年度、計6コース完成予定です。本を見て歩いてみてはいかがでしょうか？



他にも、いろんな本をたくさん揃えています！ ぜひ遊びにきてくださいね♪

